

伊予市シティブランド確立業務 第8回市民ワークショップ報告書

テーマ:「伊予市のイメージを発信しよう」

■開催日時:平成 26 年 12 月 2 日(火) 19 時~21 時

■開催場所:伊予市中央公民館

■テーマ:伊予市のイメージを発信しよう

■参加者:一般市民 15 人、協力職員 5 人、主催者スタッフ 7 人(未来づくり戦略室 4 人、セキ株式会社 3 人)、ファシリテーター 1 人、コピーライター 1 人

■プログラム

1. デザイン思考とは
2. みなさんの職場や学校、家庭などで、今回のロゴマークをどのように使っていくか話し合ってください
3. グループとりまとめ
4. グループ発表
5. 今回のテーマについての講評

■デザイン思考とは(要約)

ファシリテーターの山内氏より、「デザイン思考」についての説明がありました。

山内氏/最近、ワークショップが当たり前のように行われていますが、主催者が(事前に決めた)ある方向に導くための手段として実施するような、形骸化されたケースも少なくありません。そうではなく、新しいワークショップの形に「デザインシンキング(デザイン思考)」という考え方があり、今回皆さんとやってきたものがまさしく「デザインシンキングによるワークショップ」です。その基本は共に創る「共創」であり、デザイナー、市民、行政などが一緒になって1つのものを創っていきます。今回は参加者有志で伊予市全域のフィールドワークを行い、気付いたことや問題点などを話し合いました。ミーティングでは、ブレインストーミングで出てきた意見をカード(ふせん紙)に書いて模造紙に貼り付け、それを基にデザインという1つの形を作り上げました。

デザインシンキングで大事なものは、ファシリテーターがデザイナーであるということです。デザイナーはほかの職業の方に比べると創造力が発達しており、皆さんのアイデアを紡(つむ)いでいくことができます。ですがデザイナーやコピーライターだけでは、今回のデザインやキャッチコピーは間違いなくできていません。皆さんの意見によりブラッシュアップを重ねたことで、今回のコンテンツができたのです。

スライドを使い、デザインシンキングについて説明します。デザインシンキングとは、「理解・発想・試作を素早く行い、新たな発想につなげる手法」です。通常は企業が商品開発などで用いる手法であり、今回のように自治体で行ったのは珍しいと思います。最初の「現状のよりよい理解」というのは、フィールドワークで行いました。その結果から範囲を絞り、新たなロゴマークを作る機会を探りました。次の「さらなる発想の創出」というのはブレインストーミングであり、皆さんの意見をカード化し、分類しました。そしてアイデアをまとめて実現可能性を検証し、次の「素早い試作と検証」により今回のロゴマークなどが完成しました。次はまた原点に戻り、活用方法について「現状のより深い理解」を行い、今回を含む残り 2 回のワークショップで「さらなる発想の創出」「素早い施策と検証」へと進み、さまざまな活用方法を探ります。大事なことは「1 つの終わりが、次の始まりになる」ということです。(松山市および松前町の事例紹介)。

行政が作ったビジュアルを、民間でどのように使っていくのかの例を見ていただきました。これらを参考にし、これから皆さんがどのようなものを作っていけば良いのかなどを、今日のブレインストーミングで出し合ってください。

■グループ発表／5分×4グループ

「今回のロゴマークをどのように使っていくのか」について、4グループに分かれて意見を出し合いました。各自が意見を

ふせん紙に書き出し、分類しながら模造紙に貼り付け、最後に各グループの代表者が発表しました。

第1グループで出された意見

●個人ができるもの

- ・相撲の懸賞旗 ・名刺
- ・「僕は伊予市の人間だよ」ということが分かるツール
- ・子どもたちが面白がって使うもの
- ・子どもたちが筆箱などに貼るシール

●企業ができるもの

- ・のれん ・名札 ・看板 ・うちわ ・シール
- ・イベントのチラシ、紙コップ ・外壁
- ・トラック、バス、介護カー、福祉バス
- ・伊予市産の段ボール ・市内の駅 ・帽子

●行政ができるもの

- ・ステッカー ・切符販売機 ・標識、案内板 ・梱包用ガムテープ、セロテープ ・横断幕、フラッグ(街灯の下)
- ・ガードレール、歩道の目に付くところ ・観光ポスター ・市役所の納付書 ・手さげバッグ
- ・足元のストップマーク、マンホールの蓋 ・市内の電灯 ・ナンバープレートの一部 ・市外からの観光施設



第2グループで出された意見

●個人ができるもの

- ・ビル(建物)の側面

●企業ができるもの

- ・郡中駅、郡中港、伊予鉄駅にのぼり ・大漁旗 ・年賀状、暑中見舞いなどのハガキ
- ・市外のイベントでポスター、のぼり ・テントの天蓋 ・土産用の袋や封筒
- ・社用車、タクシーのドア ・レジ袋 ・名刺 ・会社の封筒、便せん
- ・ラッピングカー(企業名を出し、スポンサー料を徴収)
- ・JRTロココ列車や車(公用車)をラッピング ・カツオ節関連商品

●行政ができるもの

- ・保育園、小学校の帽子 ・立体オブジェ ・ゴミ袋 ・ガードレール ・シーサイド公園のラッピング
- ・オーロラスクリーンで観光情報を流す ・伊予彩まつりのはっぴ ・マンホールの蓋 ・商店街の街路灯
- ・町家、クラフトの里、ふたみシーサイド公園にのぼり ・自治会の回覧板 ・道路、歩道



第3グループで出された意見

●個人ができるもの

- 子どものお絵かきツール
- 庭のイルミネーション
- 消しゴムハンコ
- 電話の「もしもし」の代わりに「ますます」という
- オムレツにケチャップで描く

●企業ができるもの

- 商店街全体に
- 公衆電話、自動販売機
- 電柱、ガードレール
- 電車のヘッドマーク
- デマンドタクシー
- エコバッグ、ポッシュバッグ、
- コースター
- マスキングテープ
- 段ボール、プチプチ(緩衝材)
- みかんの袋
- シール(ミカン、キウイ、栗、ピワなどに貼る)
- 焼きごて(まんじゅうなどに印字)
- じゃこてん
- チョコボール
- クッション
- 知恵の輪

●行政ができるもの

- 庁舎の壁
- 道路
- マンホールの蓋
- 市のユニフォーム
- 山(大文字焼き)
- ラジオ体操のシール
- 玉入れ用の玉、バレーボール、サッカーボール
- 子どものぬり絵
- 軽トラ



第4グループで出された意見

●個人ができるもの

- シール(ランドセル、カバン用)
- 名刺
- 制服や作業着のワンポイント
- 年賀状、各種見舞状
- ギフトの包装紙

●企業ができるもの

- ハンコ、スタンプ
- 値札
- 看板
- 建物
- 産直市や店舗の袋、エコバッグ
- 自動販売機
- トラック、タクシー

●行政ができるもの

- 看板(市町の境界線)
- うちわ、はっぴ、のぼり、横断幕
- 駅舎にのぼり、看板
- イベント告知のアドバルーン
- 観光名所の看板、案内板
- 駅やバス停などの表示板
- マンホールの蓋
- 公用車、社用車
- ガードレール
- 新聞の伊予市情報欄
- 道路の案内標識



■今回のテーマについての講評

山内氏「電話に出たときに『もしもし』の代わりに『ますます』を使う」という意見は面白いと思いましたね。こんなアイデアは私たちでは出ないと思います。皆さんからいろいろなアイデアが出ましたが、次回、この中から面白そうな物を何案か選び、具体的なデザインを考え、お見せしようと思います。その中で市（行政）、民間（個人）、企業それぞれの立場で実現させていくための方策を考えてみると、面白いことができると思います。また「すぐにやった方がいい」と思ったのは、大小のシールを用意し、実際に皆さんに使ってもらうことです。例えば自転車のカバーや自動車の窓などに貼るシールです。あと「IYO」（ロゴマーク）の形のじゃこてんを作るのも面白いと思います。このように1つのものができると、そこからまた展開が広がります。次回は何案かデザインを提案させていただきますので、実際に採用されるように、皆さんに検討していただきたいと思います。



■感想カード（一部要約）

○ロゴマークができて完成ではなく、スタートなんだと感じた。これからどんな風にロゴマークが使われるのか、楽しみになりました。

○たくさん意見が出て楽しかったです。実用化できるようなものがたくさんあり、今後が楽しみです。

○みんなで案を出せば、こんなにたくさん案が出るものだと思います。せっかくみんなで考えて作ってきたロゴマーク、キャッチコピーなのだから、伊予市に住んでいる者として誇りを持って、活用していきたいと思いました。

○自由でかつ奇想天外な発想がとても大切だと痛感した。ブランドロゴマークに込めるメンバーの熱い想いがたくさんアイデアを生み、驚きと笑いもあり、大変貴重な時間であった。WSの内容については決して形骸化したものではないと、参加者の一人として少し自信ができて、楽しく過ごすことができた。

○個人では思い浮かばないアイデアが、グループでの話し合いの途中で発案されたりする。「井の中の蛙」より「三人寄れば文殊の知恵」だと思う。

○個人、企業、行政それぞれのできることに分けて、話し合いをしました。思いも付かない意見があり、毎回考え方が変わって面白いと思います。

○露出の頻度が勝負のポイントだと思います。面白がってやりたいです。

○「**ますます**…」は最高！！集大成が近付き、実用化したものができるのが楽しみです。車に貼るシールができれば当店の軽ハコバンに使ってみたいです。

○さまざまな使用方法の意見が出た中で、何か企業で実現できるよう、考えたいと思います。シール期待しています。

○名刺については早く使いたいです。いろいろ使えるものがありそうなので、どんなものになるのか、使ってみて良い反応があればいいなと思いました。目立つものを選ぶのではなく、イメージをきちんと伝えられるロゴというのが大切なのだと思いました。またアイデアを出して、よい活用法を見付けていきたいです。

○活用法について、皆さん、いろいろなアイデアをお持ちで、たくさん意見を聞いて良かった。今回の意見をもとに、次回、先生からどのような提案があるのか楽しみです。

○皆さんの意見を聞いて、たくさん使い方があるなと思いました。次回、先生の選んだ“使うもの”のデザインが楽しみです。せっかく作ったロゴマークなので、活用したいです。

○面白い案やなるほどと思う案があって、良い話し合いでした。これから予算のことも考えて、より良い案ができれば良いと思いました。

○「👍ますます」「👍いよし！」笑えました。まずは小さいシールから使って広めていきたいと思います。

○記号に見えていたマークが使用方法をイメージしているうちに、伊予市にしか見えなくなってくるから不思議だと思った。

○良い案がたくさん出たので、1つでも採用できるように努めてもらいたいです。じゃこてんは丸い形を作って、パックに詰める際に伊予市のマークができれば表現可能かなと考えます。

○ワークショップで「どう使っていくのか」の意見を抽出したが、私の班の話し合いでは、個人でできることは非常に少なく、企業と行政を切り離すことは難しい、と感じた。伊予市を広めることを考えていく場合、連携を取りながら行動することが必要となると感じた。話を聞いて、スマートフォンアプリのLINEスタンプにも使えないかと感じた。

○よく使える物として、作っていただければ良いと思います。今すぐ使ってみたいと思います。とりあえず、セロテープやステッカー、エコバッグなど。

